

2026年2月期 第3四半期決算説明資料

2026年1月9日
株式会社 **セイヒョー**

- 1. 2026年2月期 第3四半期決算概要**
- 2. 2026年2月期 業績見通し**
- 3. 中期経営計画の取り下げについて**
- 4. 株主還元（配当・株主優待）**
- 5. トピックス**

1. 2026年2月期 第3四半期決算概要



◆売上高 3,888百万円 (前年同期比0.3%増)

◆営業利益 75百万円 (前年同期比55.5%減)

- 売上高については、主力のアイスクリーム部門にて「かき氷カップ」や「Marone（マロネ）」シリーズ等の新商品が寄与し、夏季の猛暑も追い風となりましたが、8月以降の降雨による販売停滞の影響を受け微増。
- 利益面では各種コストの上昇が課題に。
原材料価格やエネルギーコストの高止まりに加え、物流費や人件費といった製造・販管コストの上昇が利益を圧迫。
- 11月1日に稼働した富山工場の改修や試運転にかかる初期コストの負担も利益を圧迫する要因。

| | 2026年2月期 第3四半期 | | 2025年2月期 第3四半期 | |
|-------|-------------------|--------------|-------------------|--------------|
| | 実績 (百万円) | 売上高 比率(%) | 実績 (百万円) | 売上高 比率(%) |
| 売上高 | 3,888 | — | 3,875 | — |
| 売上原価 | 3,122 | 80.3% | 3,081 | 79.5% |
| 売上総利益 | 766 | 19.6% | 794 | 20.4% |
| 販管費 | 660 | 16.9% | 592 | 15.2% |
| 営業利益 | 105 | 2.7% | 201 | 5.1% |
| 経常利益 | 121 | 3.1% | 219 | 5.6% |
| 当期純利益 | 75 | 1.9% | 169 | 4.3% |

1. 2026年2月期 第3四半期決算概要

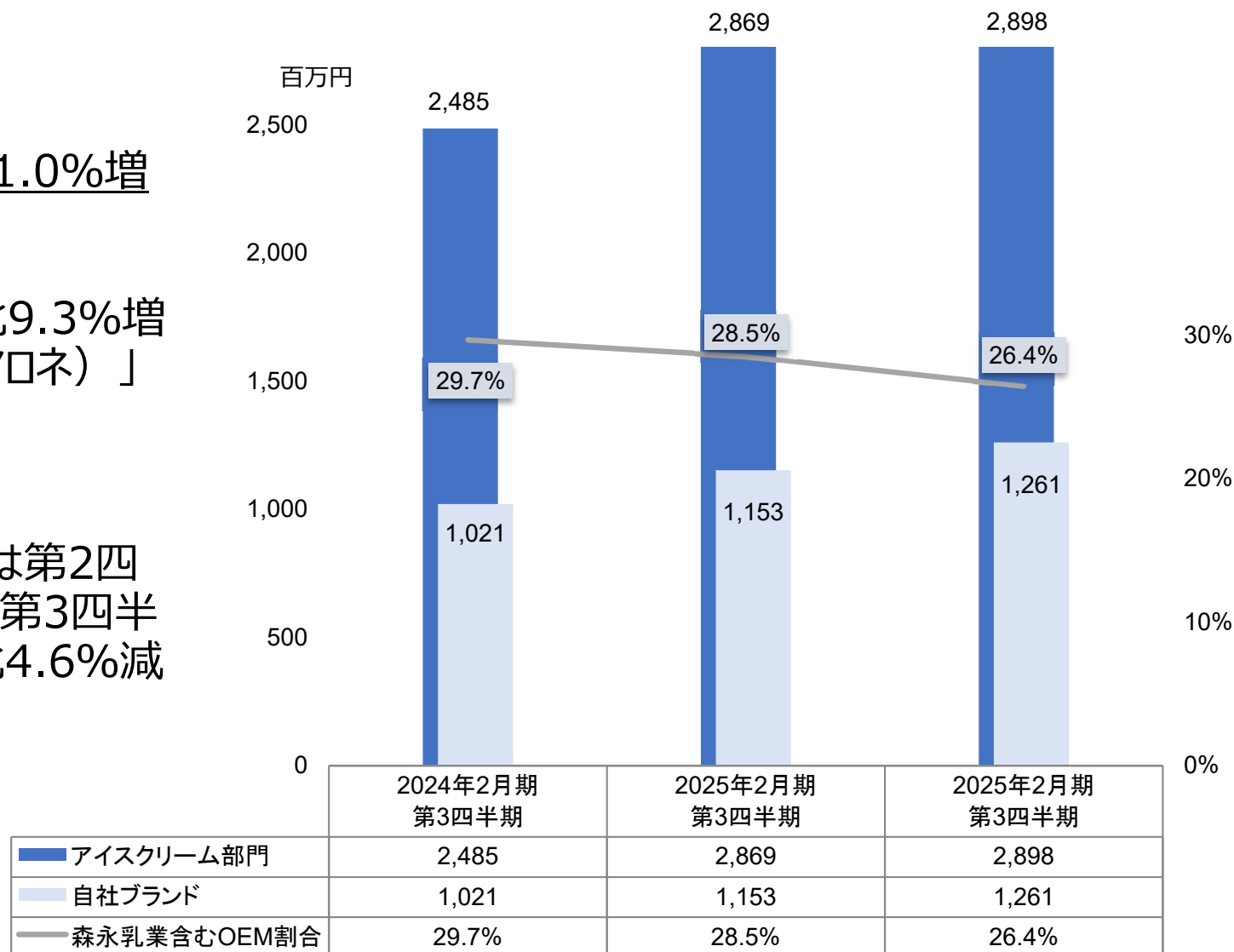


【部門別業績】

◆ アイスクリーム部門

- アイスクリーム部門は前年同期1.0%増
- その内自社製品は前年同期比9.3%増
「かき氷カップ」や「Marone（マロネ）」
シリーズ等の新商品が寄与
- 森永乳業(株)向けOEM製品は第2四
半期までは好調に推移したが、第3四半
期は低調に推移し前年同期比4.6%減

アイスクリーム部門



1. 2026年2月期 第3四半期決算概要



【部門別業績】

◆ 仕入販売部門

- 昨今の流通構造の変化に伴い、一部のお取引先様においてメーカー直接取引への移行が進んだ影響を受けた一方で、佐渡の観光需要回復に伴い、ホテル・飲食店向けの業務用商品は好調に推移

百万円

仕入販売部門



◆ 和菓子部門

- 笹だんごは販売価格転嫁により低調に推移

和菓子部門



◆ 物流保管部門

- 冷凍品の保管需要は高いものの、寄託品の倉庫スペース確保に苦慮し、横ばい

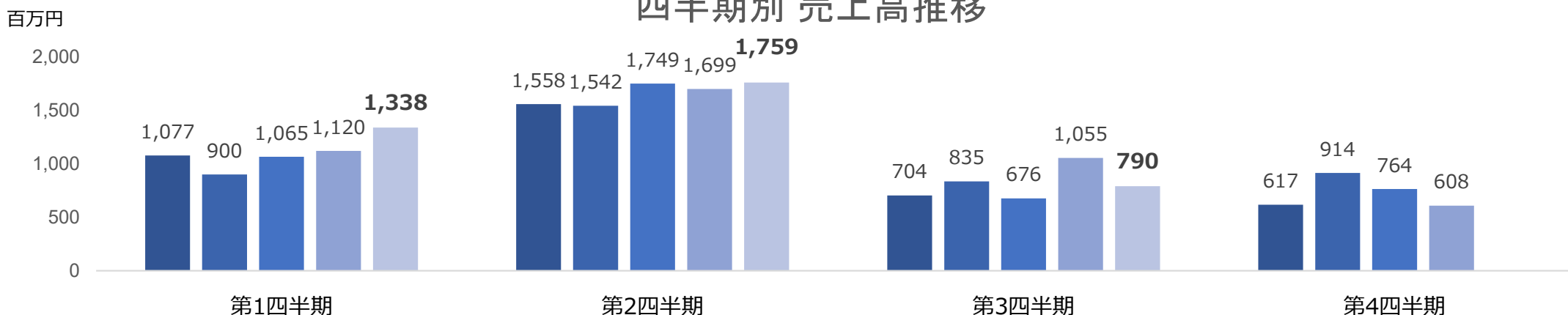
物流保管部門



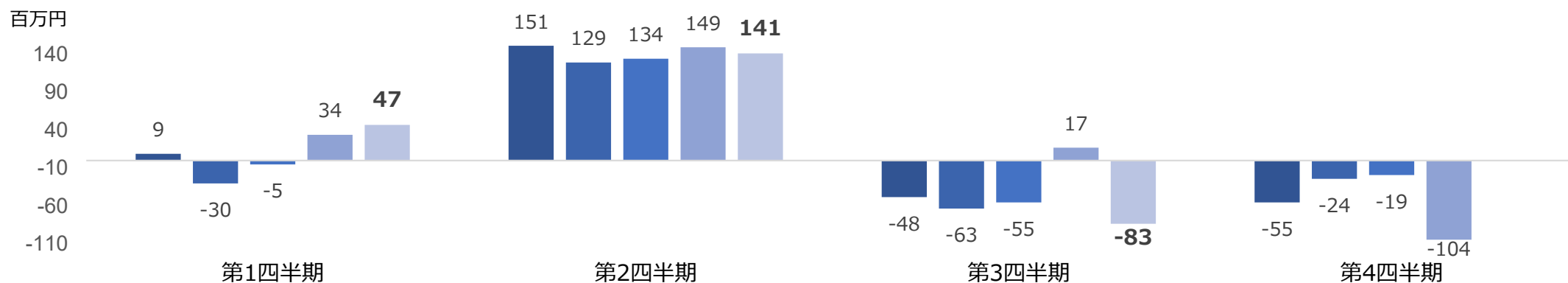
当社業績における季節性



四半期別 売上高推移



四半期別 営業利益推移



■ 111期 ■ 112期 ■ 113期 ■ 114期 ■ 115期

- 当社は夏季期間（第2四半期会計期間：6月～8月）に集中して需要が発生
そのため、第2四半期会計期間の売上高は他の四半期会計期間と比べ著しく高くなる傾向

季節性業績に対する対策



冷菓製造販売が主軸の当社は、繁忙期である第3四半期に売上・利益の大半を計上し、第3・第4四半期に大きく苦戦するという状況が続いており、第3四半期以外においてどのような営業戦略を実行していくかが長年の経営課題となっている

当期における対策の取組み

もも太郎×スポーツ による夏季以外の需要喚起

新潟の夏の定番として定着しているもも太郎に新機軸として、スポーツシーンでの利用を提案するプロモーションを展開。

新CM「部活動で箱買い編」の制作、FM新潟の特別番組「From Athlete! NIIGATA Edi.」への提供を展開。

季節を問わずスポーツ時のクールダウン、応援の差し入れといった新規需要創出につなげます。

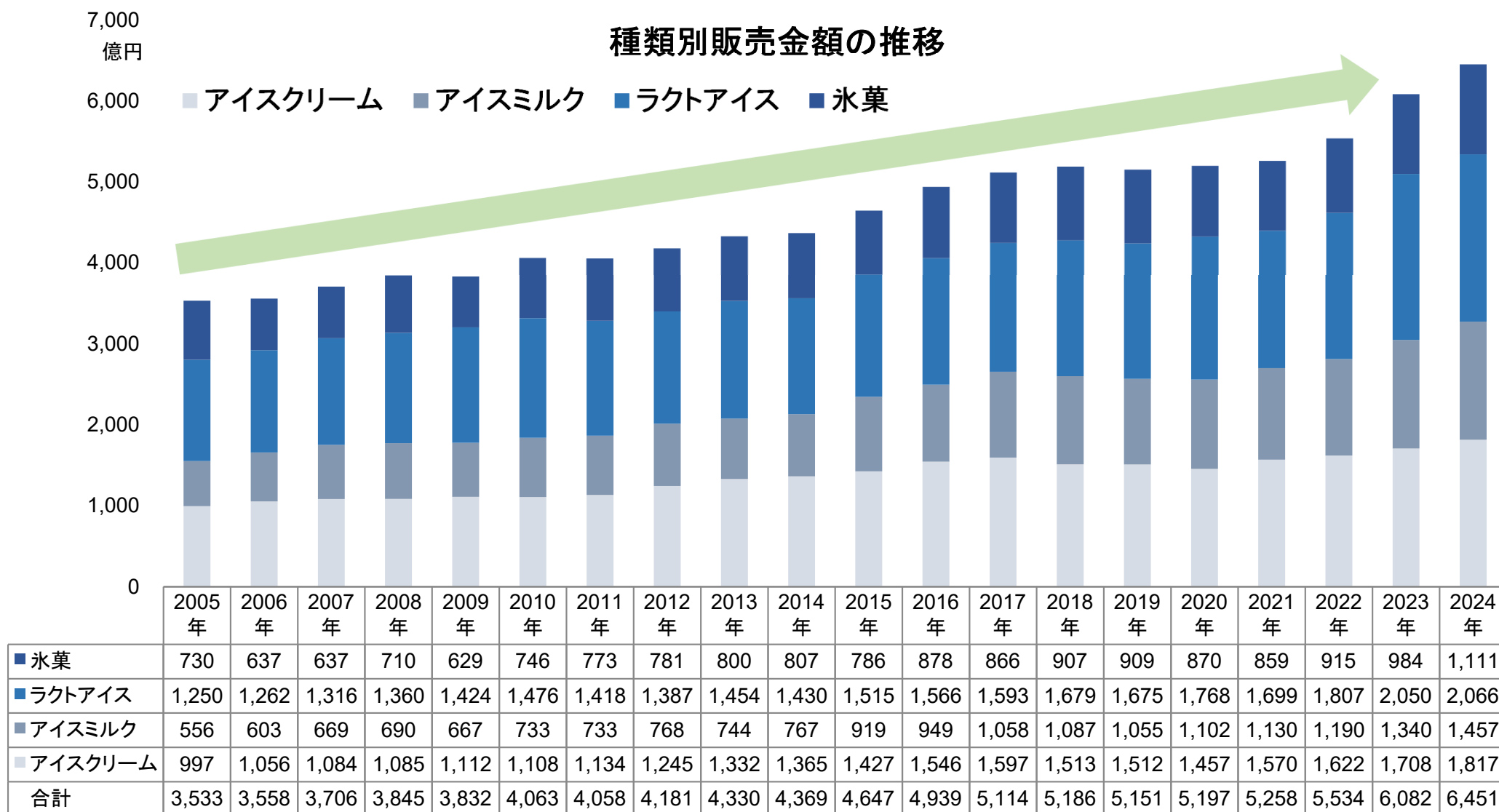


CM動画は公式Youtubeチャンネルより視聴可能



今後も引き続き、第3・第4四半期の業績改善に向け積極的な取り組みを継続してまいります。

アイスクリーム販売：国内市場は成長基調が続く



Source：一般社団法人日本アイスクリーム協会「2023年度 アイスクリーム類及び氷菓 販売実績」より

2. 2026年2月期 業績見通し



◆ 2026年2月期の通期業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日） ※2026年1月9日付で修正

| 期 | 売上高 (千円) | 営業利益 (千円) | 経常利益 (千円) | 当期純利益 (千円) | 営業利益率 | 当期純利益 率 | 1株当たり 配当(円) |
|-----------|-------------|--------------|--------------|---------------|-------|------------|----------------|
| 修正予想：115期 | 4,700,000 | 10,000 | 26,000 | 31,000 | 0.2% | 0.6% | 18(予想) |
| 当初予想：115期 | 4,600,000 | 120,000 | 125,000 | 110,000 | 2.6% | 2.3% | 18(予想) |
| 実績：114期 | 4,484,618 | 95,986 | 122,757 | 115,743 | 2.1% | 2.5% | 18 |

当社は「中期経営計画2027」に基づき、全社一丸となって目標達成に取り組んでまいりました。売上高におきましては、主力のアイスクリーム部門にて「かき氷カップ」や「Marone（マロネ）」シリーズ等の新商品が寄与し、夏季の猛暑も追い風となりましたが、8月以降は降雨の影響により氷菓の販売が停滞するなど影響を受けました。また、和菓子部門では一部製品が低調に推移したものの、仕入販売・物流保管部門は概ね堅調に推移いたしました。

一方、損益面におきましては、原材料価格や物流コストの上昇、エネルギーコストの高止まりや人件費の高騰といった製造コストの上昇が続いているほか、運搬保管料等の販管費が増加し、利益を圧迫いたしました。

さらに、将来の成長に向けた戦略的投資として、森永北陸乳業株式会社富山工場の生産設備を含む資産を取得いたしました。本件は、旺盛な需要に対応し短期間で供給体制を強化するための施策であります。

この新たな生産拠点の立ち上げにあたりましては、当社基準に基づく製造体制の構築や、既存の製造オペレーションとの円滑な統合を最優先事項として慎重に進めてまいりました。その結果、設備の改修や綿密な試運転調整など、将来の安定稼働に向けた一時的な費用が当初の想定以上に発生いたしました。

当社の事業特性上、夏季に集中して需要が発生するため、第2四半期会計期間に収益が集中する傾向にありますが、上記のとおり、コスト上昇及び富山工場取得に伴う一時費用の計上により、第3四半期累計期間の利益は前回予想を下回って推移いたしました。第4四半期会計期間につきましても引き続き厳しいコスト環境が見込まれることから、2026年2月期通期の業績予想を上記のとおり修正いたしました。

3.中期経営計画の取り下げについて



(戦略的投資の実行)

当社は新たな成長戦略として、森永北陸乳業株式会社富山工場の生産設備を含む資産を取得し、2025年11月1日より「セイヨー富山工場」として稼働を開始いたしました。

本件は、当社の未来の成長そのものを獲得する「戦略的投資」と位置付けております。かねてより課題であった生産能力の増強に対し、新工場建設を含めた様々な選択肢を検討してまいりましたが、本資産の取得こそが、旺盛な需要を確実に取り込み、最も迅速に次の成長ステージへ進むための最良の手段であると判断いたしました。

3. 中期経営計画の取り下げについて



(取り下げの理由)

現在公表しております「中期経営計画2027」は、富山工場の取得及び稼働を前提としていない内容となっております。また、当社にとって他社工場の取得という新たなスキームへの挑戦であることから、当社既存の製造オペレーションとの円滑な統合や最適化の過程において、慎重に見極めるべき事項も存在しております。

同工場は既に稼働を開始し、今後の大幅な増産を見込んでおりますが、生産能力が抜本的に強化される今後の事業実態と現行の「中期経営計画2027」との間には大きな乖離が生じることから、現行計画を一旦取り下げることにいたしました。

(今後の対応について)

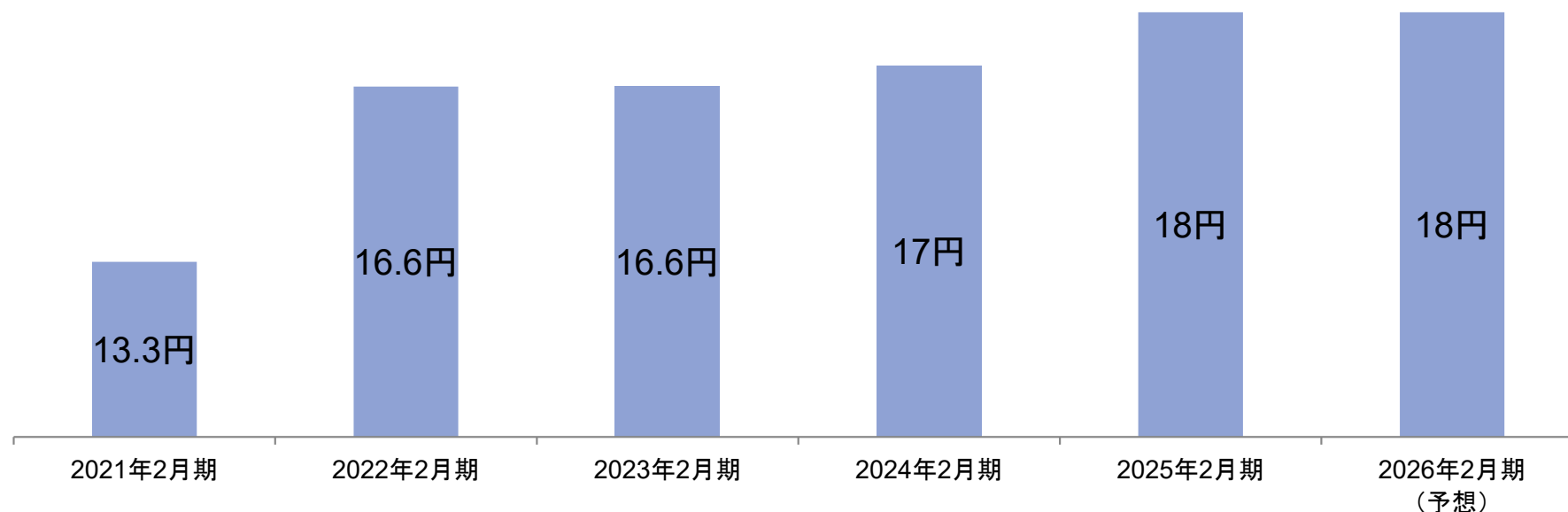
今後、富山工場の稼働状況や2027年2月期以降の業績への寄与等を精査し、新たな成長戦略を反映させた中期経営計画を改めて策定、公表する予定です。

4. 株主還元：配当推移及び配当方針



当社は、利益配分につきましては、将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続することが基本的な方針

1株あたりの配当金額の推移



※ 2023年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しており、2023年2月期以前の配当は株式分割後の基準で記載しております。

- 株主還元に関するベンチマークを用いた還元方針に関しては、現在の当社を取り巻く状況と今後の収益状況を見極めたうえで検討を行っていくことといたします

4. 株主還元：株主優待制度について



株主優待制度

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社製品をよりご理解いただくこと、また、当社株式への投資魅力を高め、中長期的により多くの株主様に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。

毎年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様に対し、その所有株式数に応じて、当社製品詰め合わせをお届けいたします。

株主優待の内容

| | |
|----------|--------------------|
| 100株以上 | 2,000円相当の当社製品詰め合わせ |
| 500株以上 | 3,000円相当の当社製品詰め合わせ |
| 1,000株以上 | 4,000円相当の当社製品詰め合わせ |



掲載写真は過去にお届けした株主様ご優待品の一例です。
実際にお届けするご優待品の内容とは異なる場合がございます。

5. トピックス



創業110周年を迎えます

当社は2026年3月に創業110周年を迎えます。
1916年に新潟で氷やとして創業以来、消費者の皆さまをはじめ、多くのステークホルダーのご支援に支えられて発展してまいりました。
今後も持続的な成長と企業価値の向上に取り組んでまいります。



新潟工場FSSC22000認証取得しました

当社は、食品安全マネジメントシステムの国際規格である FSSC22000 の認証を取得しました。
本認証は、食品の安全性確保に向けた当社の品質管理体制および継続的改善への取り組みが、国際的な基準に基づき評価されたものです。
今後も、より一層の品質・安全水準の向上を図り、安心・安全な製品・サービスの提供を通じて、ステークホルダーの皆さまからの信頼に応えてまいります。

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

投資の最終決定はご自身のご判断で行ってください。

なお、使用するデータおよび表現等の欠落や誤謬につきましては、当社はその責を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

また、本資料の無断複製・転載は、固くお断りいたします。



※業績予想等に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。